



春の収穫が楽しみ! サラダ玉ねぎ苗植え体験

12月8日(火)、津奈木小学校3・4年生59人がサラダ玉ねぎの苗植えを体験しました。町が進める「つなぎFARM」の取り組みの一つで、農業の素晴らしさや食の大切さを学んでもらおうと、JA青壮年部と協力して行っています。児童は津奈木保育園近くの耕作放棄地を解消した畑で作業。指導を受けながら一つ一つ丁寧に植えていました。



↑植えたサラダ玉ねぎは5月ごろに収穫予定です

↓会場内は写真撮影する人でにぎわっていました



冬の澄んだ津奈木の夜彩る イルミネーション点灯式

12月5日(土)、つなぎ文化センター敷地内のイチヨウがイルミネーションで彩られました。楽しみにしていた各種行事が新型コロナウイルスの影響で中止となる中、「少しでも皆の気持ちを明るくしたい」と町青年団が企画。コロナ禍や豪雨といった世の中に癒やしの光がともり、住民を元気づけました。イルミネーションは1月16日(土)まで点灯する予定です。

↓つきたてのもちをおいしそうに食べる園児



へったんことおもちつき 津奈木保育園もちつき体験

12月11日(金)、津奈木保育園でもちつき体験が行われ、園児とその保護者が参加しました。昔ながらのきねとうすを使ったもちつきを園児に体験してもらおうと毎年開いています。園児の元気の良い「ヨイショー!」のかけ声とともに、次々にもちをつきました。園児たちは慣れない手つきながら、きねを力いっぱい振り下ろしていました。

みんな楽しく笑顔でプレー フレンドリーカップ・ビーチバレー大会

12月13日(日)、ビーチバレーを通じて交流や親睦を目的に「第4回フレンドリーカップ・ビーチバレー大会」がB&G体育館で開かれ、8チーム(約60人)が参加しました。この大会は順位を決めないため和気あいあいとプレー。男女ともに楽しみながら交流を深めました。閉会式で抽選会があり、くじ引きで1~8等の景品が全チームに贈られました。



↑会場ではたくさんの笑顔が見られました

宝くじの助成金でまちを元気に 宝くじコミュニティ助成事業

一般社団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に、コミュニティ助成事業を行っています。今年度は竹中地区が助成金を受け、エアコン、会議テーブル、グラウンドゴルフセットなどを購入しました。地区の行事などに活用され、地域のつながりが一層深まります。



↑購入した備品を活用し、グラウンドゴルフを楽しみました

温かいちゃんぽん食べて頑張って 生協くまもと炊き出し支援

令和2年7月豪雨の被災者に心温まる料理を食べてもらおうと、生協くまもとと家庭会などのスタッフが12月5日(土)、男島仮設団地の談話室(みんなの家)前で炊き出しを行いました。振る舞われたのは海鮮ちゃんぽんと目玉焼き。住民からは「野菜がたっぷりおいしかった。今後はお店に行っておきたい」と温かい料理に思わずほほを緩めているようでした。



↑被災者にちゃんぽんを振る舞う生協くまもとの皆さん

↓調味料選手権で入賞に選ばれたフレッシュバジルオイル



漁協のバジルオイルが入賞 調味料選手権 2020

調味料選手権2020で津奈木漁協の「フレッシュバジルオイル」が、全国各地の調味料161品の中から食の専門家による食味審査で、入賞に選ばれました。水俣市産のバジル、芦北町産の黒糖や塩、ペースト状にした津奈木町産の養殖カキが材料で、まろやかな味わいが特徴です。つなぎ百貨堂などで販売していますので、ぜひお買い求めください。

↓歴史を感じさせる街道を歩く参加者



薩摩街道を歩いて歴史に浸る 薩摩街道歴史ふれあいウォーク×おれんじ鉄道駅ウォーク

西郷隆盛や坂本龍馬が通ったとされる薩摩街道を歩くイベント「薩摩街道歴史ふれあいウォーク×おれんじ鉄道駅ウォーク」が11月29日(日)に開かれました。コースはエコパーク水俣~つなぎ物産ギャラリーグリーンゲートの約12km。参加者約50人は案内人の「薩摩街道ななうら案内人の会」の解説を聞きながら、幕末維新の歴史に浸りました。